

マイクロ水力による発電電力を利用し新しい農業スタイルを創出



【マイクロ水力発電設備】

＜概要＞

- 事業実施主体：農事組合法人 んなーがら上野宮農組合
(石川県白山市)
- 発電出力：約10kW（計画最大出力）
- 発電電力量：約39,000Wh/年
- 総事業費：6,000万円
- 運転開始時期：平成29年1月



【パッケージエアコン】

＜特徴＞

- 農業用水の排水を利用したマイクロ水力発電。
- 発電した電力を農業用ビニールハウスのパッケージエアコンに使用し「いちご」を栽培。
- マイクロ水力で発電された電力を優先利用できる自動制御システムにより、冷暖房費を大幅に削減。
- 余った電力は外部タンクの水を温める熱源として利用し、土壌温度調整の熱源や冬季の融雪用として有効活用。
- IoT技術を駆使し、徹底した環境計測（温度・湿度・照度及びCO₂濃度等）のもと、常に品質の高い「いちご」生産を実現。
- 目標収入を1,000万円/10aとし、「いちご」の加工で6次産業化を目指している。



【環境計測(タブレット画面)】

(都道府県地図)



んなーがら上野宮農組合

※「んなーがら」とは、地域の言葉で「みんなで」という意味。